

社団法人 西大寺青年会議所 広報誌

SAIDAIJI JC REPORT

2005年度スローガン

Get the future

～気があればできる～



理事長 山根 祐一

新年あけましておめでとうございます。本年度、社団法人西大寺青年会議所 第45代理事長として、45年の伝統の重さを考えると身に引き締まる思いで新年を迎えました。

2005年度のスローガンとして「Get the future」～気があればできる～を掲げさせて頂きました。最初からできないとあきらめず、まずできるとやる気をもって行動すれば西大寺青年会議所の未来を獲得できると

信じ活動を行っていきます。

そして基本方針を、LOMの存続のためとして【会員拡大】をおこないます。現在、全国のLOMで会員が減少し続け、統合や解散を行うLOMさえある今、(社)西大寺青年会議所においても例外ではなく会員数が20名を切ろうとしているのが現実です。人数が少なくてもできることは限りなくあります。またそれを考えて行動するのも、JCの価値あるところだと思います。しかしながら「小数精鋭でがんばる」にも会員の減り続けている現状をみるとLOMの存続さえも考える深刻な問題となっております。会員の減少は運営や活動をしていくことがとても困難になるだけでなく、会員一人ひとりの負担もかなり大きくなってきております。

それと同時に地域の発展の為に次世代を担う青年(リーダー)を発掘しなければなりません。そのためには、一人でも多くの会員を募ることの出来る方策を検討、実行し、「入会したい」といわれるような会員の増え続ける活気ある青年会議所にしたいと思っております。

そして2つ目に未来を担う青少年のために【青少年の育成】を考えていきます。戦後の日本は経済至上主義のもと、目覚ましい発展を遂げてきました。私たちは物質的な豊かさを求めるがあまり、心の豊かさを失ってしまい、子供と面と向かって会話をしなくなり、むやみに物を買って与え、子供たちまでも消費社会へと巻き込んでしまいました。子供が子供らしく生きる権利を奪い、そして親としての義務を放棄する。このようなことが大きな社会問題となり、その結果、心のゆとりを無くし、他人の痛みを自分自身の痛みと感じない自分勝手な考えで行動する子供が増え、非行問題・いじめ・凶悪犯罪の低年齢化等、深刻な青少年問題がおきています。

21世紀を担う心豊かな子供を育むのは、我々大人の責任であり、その機会と環境をつくるのが大人の役目ではないでしょうか。そのためには私たち自身も親として、また地域の大人として責任ある行動をとり、子供たちの手本とならなければなりません。

「子は親の鏡」です。まず子供を持つ親である私たち大人が自らを見つめ直し、無限の可能性がある子供たちと共に、夢や希望、感動や歓び、他人を思いやる気持ちを育むことのできる青少年の育成を実践していきます。

3つ目に、地域の未来のために【魅力あるまちづくり】を考えます。西大寺青年会議所運動の目的は、「明るい豊かなブルーエリア」の実現です。そのためには、まずは私たちがこのまちを好きになることです。好きだからこそこのまちを想い、共に考える仲間ができ、地域の未来が創造できるのではないのでしょうか。私たちの住むこのまちのよりよい未来を描き、これを少しでも形にしていく私たちの努力と行動がこのまちの活性化に繋がっていくことと考えます。

これからのまちづくりは、行政主導から市民・企業・行政が共に信頼しあうパートナーシップのもと市民主導へと変わることがまちづくりの基本になりつつあります。

私たち青年会議所は、市民・企業・行政との連携を担うパイプ役として、重要な使命をも求められています。そのパイプ役となり運動を進めていくことが、この地域の活性化にも繋がるものと信じます。

最後に、地域の一人として【魅力あるひとづくり】を考えます。ひとのために自分が努力し、その結果喜んでもらった経験はありませんか？恐らく、仕事においてお金をはらっていただいたお客様から仕事を評価され、感謝された時、仕事のやり甲斐を感じたことがあることでしょうか。また、自分が必死になってJCに取り組み、仲間の励ましの言葉、協力ほどうれしいものはありません。なおさらJCのためにがんばらなければという想いが強くなるものです。自分のひとに対する想いが伝わった時、また、ひとの自分に対する思いを感じ取った時この上ない人のありがたさを感じる事が出来ます。私は、努力した人だけが感じることでできるよろこびこそ、人生においても、JCライフにおいても重要なことと考えます。みなさんはJCにとってかけがえのない仲間だという事に気づかなければいけません。JC活動を行える年齢は40歳までという限られた時間しかありません。その限られた時間の中で自分の価値に気づき、この自覚こそが混沌とした時代においても魅力のある、そして価値あるJCとして地域での存在価値に繋がり、会員一人ひとりが地域を担うJayceeとして光り輝くのではないのでしょうか。

以上4つの基本方針のもとメンバーひとりひとりのできる事の積み重ねで西大寺青年会議所の未来は明るいと確信し、1年間活動をしていきます。どうか皆様西大寺青年会議所に対しましてご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



直前理事長 藤原 知弘

新年明けましておめでとうございます。

昨年は（社）西大寺青年会議所 第44代理事長として思い出多いすばらしい一年を送らせて頂いた事に感謝申しあげると共に、多くの方々に本当にお世話になりました事をこの場を借りて御礼申しあげます。

さて、本年度は直前理事長として今まで経験させて頂いた事を活かし、今までお世話になった方々への恩返しの意味でも、ラスト一年間、頑張っていく所存です。

そして、山根理事長の良きサポート役として少ないメンバーではございますが西大寺青年会議所を盛り上げていきたいと思っております。

どうぞ、昨年同様、本年度もよろしく願い申し上げます。

副理事長（地域室担当） 岡田 康志

明けましておめでとうございます。本年、山根理事長のもと地域室担当の副理事長を務めさせていただきます。地域室は地球ふるさと委員会と地球市民委員会の2委員会で構成されています。私の役割は中村地球市民委員長と岡本地球ふるさと委員長そしてそれぞれの委員会メンバーと共に、地域室を盛り立てていくことであると思っております。2月には少年はだか祭り、夏には吉井川フェスタと西大寺JCの2大事業をこの地域室が主体となって行います。

私自身、5年目の理事であり執行部も4年目になります。今までの経験を生かし、そしてさらなるスキルアップを目指して、この1年を自分なりに精一杯がんばろうと思っております。皆様どうかよろしく願いいたします。

**副理事長（会員親睦委員会担当） 松本 和生**

皆様、明けましておめでとうございます。

今年度、会員親睦委員会担当の副理事長をさせていただきます松本和生です。会員の親睦ということで、一年間を通じておこなっていかねばならない委員会ですので、井上委員長をはじめとする委員会メンバー全員でしっかりがんばっていきたくと思います。特に年度初めから新年祝賀会に始まり会陽懇親会と大きな事業が続いております。

今は、会員数も減少し20数名のスタートとなりますが、メンバー一丸となって事業ができるように、会員相互のコミュニケーションがしっかりとれる西大寺JCとなれるように、がんばっていきたくと考えています。

まだまだ力不足の面もあると思いますが、まずは委員会が一丸となれるように、井上委員長をしっかりとささえられるよう、がんばっていきたくと思いますので、一年間よろしく願いいたします。

専務理事 近藤 友一

本年度、山根理事長のもと、専務理事を務めさせていただきます。最終年度という事もあります、精一杯理事長をサポートしていきたくと思います。

又、総務広報委員会担当でもありますので、麻岡委員長と共にスリムな健全財政を行いたくと思います。個人的ではありますが、理事長方針の会員拡大を視野に入れながらと考えておりますので皆様どうかご指導ご鞭撻の程、宜しく願いいたします。

**監事 茂成 潤**

明けましておめでとうございます。本年度、13年間のJCライフの最終年度に、監事をさせていただくことになりました。私自身、今回で3回目の監事ですので、自らの考える監事という役職のあるべき姿に出来る限り近づけるように努力していく所存であります。

また同時に、岡山ブロック協議会のほうに、副会長として出向させていただきます。研修スクール

委員会とブロック会員大会を担当致しますので、皆様には大変お世話になることと思いますが、何卒ご協力をよろしくお願い致します。

最後の一年を精一杯過ごして、思い残すことのないように、卒業させていただきたいと思います。一年間、どうぞよろしくお願い致します。

監事 歳森 宏

本年度4回目の監事を拝命致しました歳森です。

とうとうラストイヤーになってしまいました。17年間という長いJCライフの中で出会った諸先輩方がどのような気持ちでおられたのか以前から興味がありましたがとうとうその自分の順番がきました。一つ一つの事業をかみしめながら精一杯自分の役割を演じきっていこうと思いますし同時に楽しんでいきたいとおもいます。どうぞよろしくお願い致します。



会員親睦委員会 委員長 井上 裕嗣

皆様、あけましておめでとうございます。本年会員親睦委員会委員長の大役をいただきました井上です。

会員親睦委員会では、年間例会の運営にはじまり、新年祝賀会、会陽懇親会の運営、卒業式や家族会の開催など、年間を通じてまんべんなく事業を展開する予定になっております。

各事業とも、JCの一年のうってとなる事業であり、大切な事業ばかりだと考えております。これらの事業を一年間滞りなく円滑に運営することが、私の本年の目標であり、課題でもあります。また、これらの事業には現役会員はもちろん、特別会員の皆様のご協力があってはじめて成し得るものと思います。人数の少ない昨今の西大寺JCのこと、一年間皆様にはいろいろとご無理なお願いをするかと思われそうですが、そこは何卒ご容赦いただきまして、笑って了承をいただければ幸いです。

一年間委員会メンバーともども頑張っけて参ります。よろしくお願い致します。

地球ふるさと委員会 委員長 岡本 光生

新年明けましておめでとうございます。

本年度、地球ふるさと委員会を担当します岡本光生です。

「郷土の次代を担う青少年の、心身ともに健やかな成長を促進し、活力あるまちづくりに貢献する。」を基本方針に、第34回少年はだか祭り、JP文化協議会、青少年の育成を考える事業等、行ってまいります。

継続的な事業ではありますが、いずれも長年の歴史を持つ事業です。築き上げた歴史に緊張感をもって、また時代にあった柔軟性を取り入れながら、一年間乗り切りたいと思います。初めての委員長ですので、皆様方には何かとご迷惑をお掛けすると思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。





地球市民委員会 委員長 中村 千晃

新年あけましておめでとうございます。

今年は、私が入会した時から始まりまして、吉井川フェスタ担当の地球市民委員会を初めてさせていただきます。

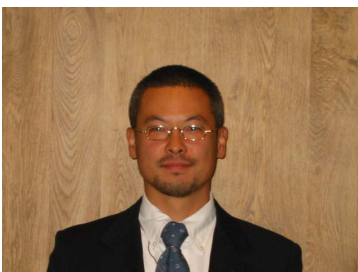
委員会メンバーもフレッシュなメンバーですので、分からない事ばかりですが、非常に楽しみにしています。

本年度は、吉井川を通して上流との交流、地域づくり、まちづくりなど実行委員会で互いにコミュニケーションを取りながらやっていきたいと思えます。

一年間どうぞよろしくお願ひします。

会員大会準備室 室長 水野 隆一郎

いよいよ JC 生活ラストの年になりました。これまでの集大成としてこれから JC を担っていくメンバーのためにハードおよびソフト面でできるだけのことを残したいと考えています。まず一つ目は会員拡大に関して、より JC の魅力をアピールし、新会員を引きつけるような勧誘のための資料づくりを行い、積極的に会員数を増加させること。2つ目は新会員のための研修を行い、将来西大寺 JC を背負っていく人材を育成すること。そして3つ目は2006年に西大寺主管で開催される会員大会を成功させるための準備を行うことです。山根理事長のもと、西大寺 JC の発展のために努力する所存でありますので、一年間どうぞ宜しくお願ひいたします。



総務広報委員会 委員長 麻岡 正義

本年度総務広報委員長を務めさせていただきます。

初めての役員でもあり、いろいろと至らぬ点もあろうかと思いますが、「やる気」をもって1年間がんばりたいと思ひます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

■行事予定

2月 9日(水)	2月例会	(西大寺商工会議所)
2月19日(土)	少年はだか祭り	(西大寺観音院)
	会陽懇親会	
3月 9日(水)	3月例会	(西大寺商工会議所)

発行日	平成17年 1月28日
発行責任者	山根 祐一
編集責任者	麻岡 正義
発行所	社団法人西大寺青年会議所